

第1回 2019HCC ユース委員会 会議録(案)

日時・・・2018年7月8日(日)10:00～

会場・・・横浜中央 YMCA501 号室

作成者・・・人見晃弘

出席者(敬称略): 大久保 知宏、長津 徹、渡辺大輔、永坂仁、須郷利貴、平川真友美、新井美帆、人見晃弘

1. 参加者確認・自己紹介・・・各自

書記の指名・・・人見晃弘委員

2. AYC in Sendai 2018 大会テーマの検討

①ロゴマークについて・・・

アジア太平洋地域大会(以降 AC)のロゴをそのまま使用 or 地域ユースコンボケーション(以降 AYC)用に加工 or AYC オリジナルロゴを別途作成して使用。ユースコミッティー(以降 AYYC)側で3つの選択肢について検討する。

②大会テーマ、トピックについて・・・

以下のキーワードを候補・案として箇条書き。

・社会正義・戦争・環境・原発・自然災害・災害時の人権(災害時の障害者等、弱者とされる人々の問題)・自国と周辺国の関係・人権・女性の権利・難民・ロヒンギヤ・チベット難民・難民の迫害・PDCA・異文化理解・・・

・AC テーマ『Action! Let's move on』に関連したテーマを考えてはどうか。

・前回の AYC や IYC のテーマを一部引き継ぐ形にしてはどうか。また、過去のアクションプランの検証・評価をおこなってはどうか。

・全ての YC に共通するテーマ『Global issue』+地域の特殊性。

→AYC の根幹として、全プログラムの準備に関わる部分なので、AYYC によりなるべく早期に設定する。7月中の決定が理想。

3. 開催施設の検討・・・次回以降に継続協議

4. 実行委員会構成の検討・・・原案に記載されている人名は、主に企画・立案段階の参画を想定しており、開催中の参加については別途考える。

①AYYC について・・・Japan East に新井美帆さんを追加。その他、アジア太平洋地域各区の RYR など、AYR 永坂さんの判断で直接・間接的にメンバーの追加を行う(随時)。その際、AP 田中博之ワイズや AYHC 大久保委員長に関係者への仲介をお願いする場合あり。

②AYHC について・・・

イベント班：渡辺大輔リーダーより、東京武蔵野多摩クラブメンバーのサポート着任について、本大会への参加者もおおり、AYC サポートは難しいとの意見あり。大久保委員長から、在仙台のワイズメンズクラブメンバーに依頼を試みるとのお返事。

記録・写真班：人見晃弘の全日程参加は現時点では難しい。また、機材の操作等の都合上、複数名で業務に当たるのが適切なので、各プログラムの AYHC サポートメンバーに適宜補助をお願いする形を取っていただきたい。なお人見にて、過去の業務経験に則ったガイドラインを作成する。

5. 実行委員会連絡方法・・・今回は協議無し。既存の ML を使用？

6. 次回委員会までの課題・・・

①大会テーマ・トピックの決定（AYYC にて）・・・IYC 期間中に検討。

②2019AYC プログラムのたたき台作成（AYYC にて）・・・7 月中。

③

7. 次回委員会の予定・・・次回 HCC 開催が 9 月 23 日(日)なので、その前に ML での委員会開催を予定。

8. その他・・・無し